

11月9日（水）ののさき道徳研究授業2学年・授業研究会（模擬授業） 14：35～

授業研究会参加者：松田・福崎（薄葉小） 大内・高野（石上小） 授業者：高野 裕介

1 主題名 きまりのたいせつさ

【C-（12）規則の尊重】

2 きまりのない学校

3 ねらい

きまりがもつ意味について考えることを通して、みんなが使うものを大切に、約束やきまりを守ろうとする心情を育てる。

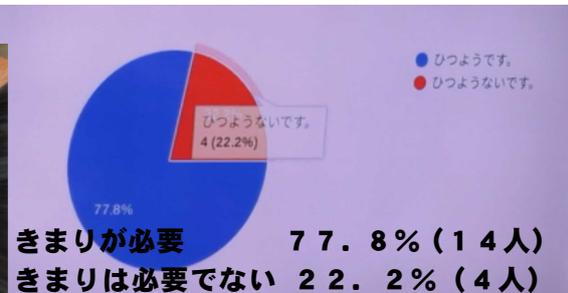
4 あらすじ

あきは、先生からたくさんしかられた夜に、夢を見る。そこはきまりのない学校。はじめは、あきもうれしくて好きなことをしていたが、皆やりたい放題で、ものを壊したり、泣いている友達がいたりしても気にかけず、勝手に遊び回っている。やがてあきは涙ぐむ。 そこで目覚め元気にベッドからとびおきる。



授業研究会・模擬授業の様子

中心発問



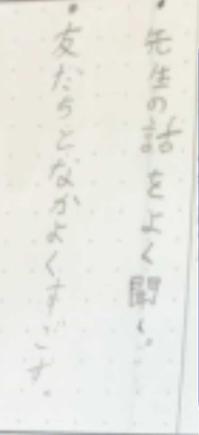
きまりがあればこんなことにはならなかったのに。

学校はきまりがあった方がいいし、友達がいないと寂しい。

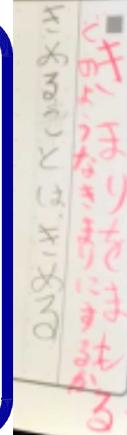


きちんときまりがある学校がいいなー

きまりを守るためにどのよう
に生活していきたいか



←先生の話をよく聞く。
友達と仲良く過ごす。など、きまりをしっかり守ろうとする意欲が高まり、友達など周囲への配慮を考えて生活しようとしている。



←「決めることは決める」と皆の前で発表し、「どういうこと？」と質問されていた。きまりがなくても、自分で正しいと思うことを決めて行動するという、自己指導能力の芽生えであると考えられる発言であった。また、思いや考えをなかなか言葉にできない2年生に担任が適切に助言を与えていた。